

先山, 1♂, 8. VIII, 1951; 洲本市安乎町, 1♀, 6. VII, 1973

コクワガタに混じって樹液に集まるが、個体数はコクワガタよりも少ない。洲本市由良町でも見たことがあり、島内の各地に産するものと思う。

6. ネプトクワガタ *Aegus laevicollis* Saunders

先山, 1♀, 8. VIII, 1970

先山にも少ないようで、他ではまだ採集していない。1950年にも先山で1頭採集したが、現在標本は残っていない。

クワガタ類の成虫越冬について

オオクワガタなどは成虫でよく越冬し、いくつかの報告例がみられる。筆者は、昨年の夏洲本市安乎町で採集したヒラタクワガタ、コクワガタ、スジクワガタ、ノコギリクワガタと長野県で採集したアカアシクワガタをそれぞれ数頭ずつ、クヌギの朽木を入れた水槽で飼育してみた。今年の1月初旬にみるとコクワガタ、スジクワガタ、アカアシクワガタ計6頭が生き残っており、6月初旬にはコクワガタ1♂1♀, スジクワガタ1♀だけになった。なお、この3頭は現在も生きている。 (5. VIII, 1973)

淡路島のカミキリムシ追加 (1)

堀 田 久

筆者は、淡路島のカミキリムシについて本誌 No. 8 に発表した。それは筆者と登日邦明氏の保有する標本だけをもとにしたものであった。その後新たに採集したものと、文献によるものを併せると5種類が追加され、淡路島のカミキリムシは丁度50種を数えることになったので、ここに報告しておく。なお、本稿を草するに当たり、いろいろとご教示いただいた辻啓介氏に深謝の意を表したい。

1. ニセノコギリカミキリ *Prionus sejunctus* Hayashi

洲本市上灘中津川, 1♀, 15. VIII, 1972

蛾類の夜間採集を行っていたとき、螢光灯に飛来したものである。

2. トゲヒゲヒメカミキリ *Allotraeus rufescens* (Pic)

洲本市安乎町, 8♂4♀, 17~30. VI, 1973

採集品は、いずれも筆者の自宅の灯火に飛来したものである。

3. チャイロヒメカミキリ *Ceresium Simile* Gahan

長尾悟氏が、1968年8月3日、淡路島南部海岸のフェリーポート港で蛍光灯に飛来した1♂を採集された。「昆虫と自然」Vol.4, No.5 (1969)

4. ヒメコブヤハズカミキリ *Parechthistatus gibber* (Bates)

水沼哲郎氏が、先山で1頭採集された。「甲虫ニュース」No.10 (1970)なお、これは辻啓介氏よりご教示をいただいたもので、筆者はまだ文献をみていない。

5. ヒゲナガモモフトカミキリ *Acanthocinus griseus* (Fabricius)

登日邦明氏が、1972年7月7日、常陸寺山山頂の常陸寺境内で灯火に飛来した1♀を採集し、本誌 No.9 (1973)に、スジマダラモモフトカミキリの和名で発表されている。(29. VII, 1973)

淡路島でオオヒヨウタンゴミムシを採集

南淡町の阿万吹上キャンプ場で、オオヒヨウタンゴミムシ *Scarites sulcatus* Olivier を1頭採集した。本種は四国や和歌山には多いようであるが、淡路島では珍しいと思うので報告しておく。

採集年月日： 1973年8月1日

採集場所： 三原郡南淡町阿万吹上ノ浜 教育キャンプ場

なお、採集した個体は、体長が43mmもあり、夜間テント近くの砂上を歩いていた。(堀田 満)

洲本市でヒメヒラタタマムシ

1973年5月25日、洲本市由良町の生石海岸で、ハマウドの花に来ていた、ヒメヒラタタマムシ *Anthaxia proteus* E.Saunders を多数採集した。なお、採集品には体背面が暗色になった個体も多く混じっている。本種は、日本全土に分布するごく普通のものであるが、筆者は、これまで淡路島では採集していなかったので報告しておく。(堀田 久)
